

安全・適正就業だより



☆☆☆☆

いつまでも 働く喜び 無事故から

☆☆☆☆

5月10日の巡回報告

1 氷雨塚古墳草刈り作業現場を



巡回しました。一般道路と民家が隣接している現場でしたが、防護シートが張られて飛び



石防止対策が行われていました。3人の会員さんが就業していました。

外作業なので、暑い時は適度な休憩とこまめな水分補給を行うように伝えました。

- 2 秩父神社内トイレ清掃作業を巡回しました。2名の会員さんが就業していました。就業時間は8時30分から11時30分までの3時間。急な階段がありましたが、特に危険な状況ではありませんでした。就業中のコロナウイルス感染に注意するように伝えました。

全国シルバー人材センター事業協会発行安全ニュース5月号より

○全シ協へ、4月分として報告された重篤事故より



カイツカイブキの生垣を10段の三脚脚立に登り電動ヘッジトリマーで刈り込み作業中、脚立の6～7段目あたりからアスファルト道路に転落、外傷性くも膜下出血・脳挫傷などと診断され現在入院中。ヘルメット着用していた。

原因は脚立を正面にして使用していないで、体を左右によじって作業をしていたためとされた。

また、三脚脚立適正使用の徹底と、安全帯の使用困難な剪定作業等の受注は慎重に行う必要があるとされた。

○全国では、多くの重篤事故が発生しています

1 事故の推移

別表のとおり、その年度によって差はありますが、全国では毎年多くの重篤事故が発生しています。特に、28年度（表にはありません）に7件だった途上中の事故が、翌年度に14件となり、その後16件に、そして昨年度は15件と高止まりしています。秩父でも、仕事前にもう少し良く確認していれば起こらなかった事故や、1歩間違えば大きな事故につながった可能性のある事故が発生しています。日

常生活である、「ヒヤリしたりハッとすること」が重なり小さな事故に、そして大きな事故につながります。何時、どこでも誰でも事故を起こしてしまう可能性があるという事です。

別表 ※重篤事故とは、死亡または6カ月以上の入院事故です)

	就業中			就業途上			総件数		
	死亡	入院	小計	死亡	入院	小計	死亡	入院	計
30年度	29 (3)	8 (1)	37(4)	14 (4)	2 (0)	16 (4)	43 (7)	10 (1)	53 (8)
元年度	12 (0)	9 (1)	21 (1)	6 (1)	10 (2)	16 (3)	18 (1)	19 (3)	37 (4)
2年度	14 (0)	12 (0)	26 (0)	13 (5)	2 (1)	15 (6)	27 (5)	14 (1)	41 (6)

2 重篤事故の分析

別表のとおり、就業中の事故の7割が「墜落・転落」であり、毎年高い割合で推移しています。中でも、植木剪定・樹木伐採等における墜落・転落の事故が突出しています。次いで「転倒等」が5件となっています。この中で、義務ではありませんが、もし安全帽を着用していたら防げた、少なくとも重篤事故までには至らなかったと思われるケースも多くあります。できる限り安全帽を着用することと、万が一事故を起こしてしまったら、救急車を呼んで、必ず病院等で診察を受けましょう。

安全確認は「指さし呼称」で・・・(安全・適正就業委員会副委員長 鈴木)

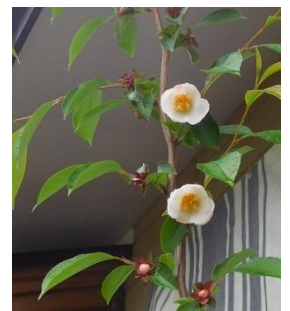
指さし呼称とは、これから行動することを指でさして目で確認するとともに、その行動を耳で聞いて確認することです。例えば、刈払機エンジンを始動する時、「刈払機エンジンを始動する…、周囲に人いない…ヨシ」と言って指でさし、安全を確認してから始動することです。国鉄(現在のJR)が世界一安全な鉄道と認められるようになったのは、全職員にこのことを徹底したのが要因の一つだと言われています。そして、他の私鉄でも同様に採用され、皆さんが普段利用している近くの鉄道でも、駅のホームで駅員さんが指をさして何か言っている姿を必ず見かけると言います。運転席で運転士さんが進行方向を指でさして「出発進行」をやっているあれのことです。また、国内で多くの企業・団体が取り入れて実施しています。

仕事の前後に、必ず「指さし呼称」をして安全確認を行いましょう。

この「指さし呼称」は、私たちの日常生活でも非常に役立ちます。



誰にでも、家を出た後で「アレッ…ガスの元栓を閉めたかな? 玄関の鍵は?」と不安になった経験があると思います。そして、その不安を払拭できるのが、この指でさし声を出して確認する「指さし呼称」なのです。是非試してみてください。



秩父市シルバー人材センター 安全適正就業委員会

秩父市野坂町1-13-14 電話 22-4454